

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : たんぽぽ組(0歳児)

●日時 : R6 年 11 月18日～21日

1. 活動テーマ

＊テーマ「葉っぱ・落ち葉」

＊テーマの設定理由 : 遊歩道や中央公園、東公園に行くと、緑で元気のある葉っぱ・風に揺れる葉っぱ・風に舞う葉っぱ・落ち葉と様々な様子の葉っぱに興味を示す姿が見られたのもっと興味を深めたいと思い、取り組むことにした。

2. 活動スケジュール : 遊歩道散策をし、子どもの興味を知る

興味を示した物に焦点を絞り、保育士が働きかけていく

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : 落ち葉が沢山ある場所へ散歩に行く

4. 探究活動の実践

＊活動内容 : 中央公園へ出かけ、落ち葉の感触や音を全身で感じる

＊活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



落ち葉のお山を1度踏み、音がすること、山の沈み方の楽しさに気が付き、笑顔で繰り返し踏んで楽しんでいた。



葉っぱを両手に持ってパラパラ～と落ちるのを夢中になって楽しみ、声を出して笑っていた。



こんなに大きな葉っぱがあったよ！と言わんばかりの表情で大きな葉っぱを見せてくれました！！



落ち葉に手を入れて踏むのとは違う感触を楽しみました。

5. 振り返り : 秋が深まり、中央公園には落ち葉の絨毯が広がっていました。落ち葉に気が付くと、手に取り、足で踏み、パラパラと散らして…と様々な方法で感触を楽しむ姿が見られた。葉っぱの絨毯に座ってじっくりと見て、大きさや感触の違いに気が付く子どもいた。落ち葉の山に登り、踏むことでいい音がすることにも気が付き、踏んでは保育者の顔を見て、声を出して音がすることを訴え、保育者が気持ちを汲み取り「いい音がするね、ザクザク」と言うと笑顔で落ち葉の上で足踏みをしていた。低月齢児は落ち葉を口に運ぼうとしたが、保育者がそばにつくことで未然に防ぎ、落ち葉の感触を感じることが出来た。次回は落ち葉を使って遊びの展開が出来るようにカップや枝などを用意して様子を見ていく。

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : たんぽぽ組(0歳児)

●日時 : R7年1月20日～23日

1. 活動テーマ

＊テーマ「葉っぱ・落ち葉」

＊テーマの設定理由 : 遊歩道や中央公園、東公園に行くと、緑で元気のある葉っぱ・風に揺れる葉っぱ・風に舞う葉っぱ・落ち葉と様々な様子の葉っぱに興味を示す姿が見られたのもっと興味を深めたいと思い、取り組むことにした。

2. 活動スケジュール : 遊歩道散策をし、落ち葉を意識できるように働きかける
子どもの興味の向くままに遊びに展開していく

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : カップや危険につながらない短めの枝を子どもたちの近くに用意する。枝を使用する際には、座って使用するように促す。

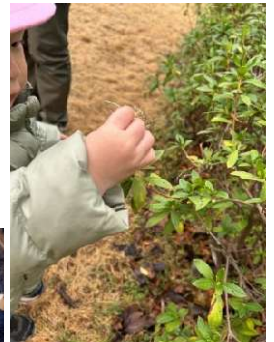
4. 探究活動の実践

＊活動内容 : 遊歩道に出かけ、たくさん落ち葉に触れ、遊びを展開していく

＊活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



たくさん握って、「ポーン！！」



“手を開いて”と訴え、掌に葉っぱをちぎって乗せました

ふう～してと訴え、保育者の掌の葉っぱが飛ぶのを繰り返し楽しんでた。

う～ん… 難しいけど、夢中になって枝に葉っぱを
さして、“なんだか、美味しそう～”

5. 振り返り : 両手に落ち葉を持って頭のうえまで「ポーン！！」と言いながら投げて楽しむ姿があった。投げた落ち葉が他児の帽子に乗ると、手ではらおうとする姿もあった。枝をもって歩こうとしていた為、枝に葉っぱをさして「食べる？」と尋ねると、「うん！」と言って食べる真似をしたり、保育者の「ああ、美味しい～」の声に合わせて手をほっぺにあてて美味しいを表現していた。低月齢児も、食べる真似をして笑顔が多くみられた。自分で枝に葉っぱを刺そうと挑戦する姿もあった。

落ち葉をテーマに、すくわくプログラムを行ってきた。はじめは不思議そうな顔をして触れるのを嫌がった子もいたが、少しずつ触れられるようになり、握る、投げる、風に乗って舞う姿を喜ぶようになり、落ち葉を使ってあそべるようにもなった。遊歩道へ続く道を歩きながら、いつの間にか指差しをして「葉っぱ」と言えるようになり発語につながったこと、子どもたちの中での興味が大きくなっていることがよくわかった。大きい葉っぱを見つけると嬉しい顔、濡れていると手が汚れてしまう事、いい音がするなど様々な発見をしてきた。遊びの幅も広がり、ごっこ遊びのきっかけも出来たように感じた。また、子どもたちの遊びの幅は想像するよりも大きく、ねらいとしていた、不思議や楽しさを感じることが出来たように思う。